



◆2022-2023年度 主題◆

国際会長	ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)	「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長	利根川恵子(川越)	「変革のための光となろう」
東日本区理事	山田公平(宇都宮)	「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
あずさ部部長	森本俊子(長野)	「よい結果をもたらす心の安定と考える力」
甲府21クラブ会長	小澤公紀	「みんな一緒に、1つの目標(YMCAの支援)に向かって行動しよう」

甲府21ワイズメンズクラブ
2023年9月会報

今月の強調テーマ
EMC

[今月の聖句]

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」(ローマの信徒への手紙 12章 15節)
選者：小澤智之

9月 巻頭言

会長 小澤公紀



今年の夏は大変な暑さでした。35度を超える猛暑日が続き、熱中症の危険にさらされ体調維持に四苦八苦の日が今も連日続いております。これも、残暑・・・かな？

さて、現在当クラブのファンド事業の一環として、昨年「チャリティーころ柿」に続き、内田ワイズを始めクラブの皆様全員の協力のもと「チャリティーぶどう」の販売をすすめております。購入されたワイズの方より大変なお褒めの言葉を戴くなど「フルーツ王国山梨」の面目躍如の感有です。今後も山梨のフルーツを軸としたファンド事業を一つの柱として進めたいと考えています。更なるクラブ員の絶大なる協力をお願い致します。

又、9月9日(土)には久しぶりに例会会場を「かつぬまぶどうの丘」に移し「ワイン」とバーベキューを楽しみながらの開催となりました。卓話講師に「ワイン博士」の異名を持つ萩原健一様を迎え、他クラブからのゲストも参加いただき楽しいひと時が期待されます。

又、CSの一環として11月の「ベビーカーコンサート」の開催、及び「YMCA バザー」のお手伝いなど、たくさんの行事があります。これからはクラブ一丸となって山梨YMCAを応援し、よりよい社会を作るための一助になればと考えております。

2023年9月第一例会プログラム

第一部 例会(会議室)	司会	輿水順雄ワイズ
①開会点鐘		小澤公紀会長
②ワイズソング、ワイズの信条	奏楽	萩野優子メネット
③今日の聖句・一言	選者	小澤智之ワイズ
④会長挨拶		小澤公紀会長
⑤ゲスト紹介及び長谷川あずさ部書記による部大会アピール		溝口 秀男ワイズ
⑥会員10分卓話		
⑥ゲスト卓話 「甲州葡萄とワインについて」		萩原健一氏
⑦諸報告		
⑧YMCAの歌	奏楽	萩野優子メネット
⑨閉会点鐘		

記念撮影

第二部 懇親会(バーベキュー場)	司会	赤根 学ワイズ
① 開会の辞		佐藤重良直前理事
② 食前の感謝		古屋秀樹ワイズ
③ 乾杯		神谷幸男ワイズ
④ ゲストスピーチ、懇親		
⑤ ハッピーバースデー		
⑥ 閉会挨拶		小澤公紀会長

《8月の誕生者》 Happy Birthday!

<メン>

後藤哲夫(9/1) 松村禎夫(9/3) 山口 了(9/9)
古屋秀樹(9/11) 清藤城宏(9/14) 小澤智之(9/28)

<メネット>

駒田元子(9/11) 功刀佳津子(9/23)

[敬称略]

第 1 例会報告

書記 寺田喜長

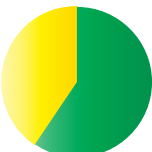
日時 2023 年 8 月 1 日

会場 山梨 YMCA 3 階ホール「ベテル」

体温を超えるほどの酷暑の後に激しい雷雨に見舞われて、ひんやりとした涼風を感じながら 8 月の例会を迎えました。夏休み中の学童の学習会場となる例会ホールは机と椅子がピッシリと並べられ、夏休み中の子供達の喧騒を感じながら赤根ワイズの司会のもと、キックオフ例会を体調不良にて参加出来ませんでした小澤公紀新会長の初点鐘にて開会、ワイズソング、ワイズの信条、荻野清ワイズの今月の聖句と続き、コロナ禍以前の通状の例会プログラムにて進行、会長挨拶は第二例会のふくろうキャンプ支援での子供達とのふれあい、交流の場の大切さについて改めて気付かされ、今年度の目標のユース事業支援を積極的に進めて生きたいと挨拶されました。今年度は例会プログラムに会員 10 分卓話を設け、今月は平賀ワイズに自己紹介を含め現在 YMCA 職員となるまでの経緯をパワーポイントを使用してお話頂きました。会員同志を知る良い機会となります。8 月誕生者をお祝いし、ワイズディナー、そしてゲスト卓話をやまなみクラブの松本公夫様に「JICA 海外協力隊 ケニアの昔と今」と題してお話し頂きました。ケニアでの 6 年間の活動と、JICA にかかわるようになったいきさつや、JICA の活動、ケニアの状況等話題が豊富で時間が足りない程でした。諸報告の中で今年の国際ユースコンボケー



《 8 月例会の出席者》

 <p>59.5%</p>	会員数	42名
	例会出席者	25名
	ゲスト参加者	
	メネット	4名
	総出席者数	29名
	出席率	59.5%

ションに参加される山梨 YMCA 職員の風間奈月さんが IYC について報告をされ、クラブとして昨年に続いて自己負担金軽減の為の援助を呼びかけ募金をお願い致しました。松本様から提供いただいた講演謝礼分を含めて 5 万円の寄付を頂きました。感謝。9 時少し前に 2 時間余りの充実した例会が閉会となりました。

＜ヴァンフォーレ甲府応援ツアー報告＞

書記 寺田喜長

サッカー J1 リーグ昇格を目指し健闘している VF 甲府を応援しようと 8 月 6 日（日）に雷雲立ち込める小瀬 J I T リサイクルスタジアムへ、今年は残念ながら 4 名の参加、弁当を準備し輿水順雄ワイズの優待券にて格安観戦ツアー、ビール片手に納涼観戦を期待しましたが、雷雨に見舞われ大粒の雨の中試合開始、雨は小降りに成りましたが、VF 甲府は敵のシュート嵐に見舞われて完封負け、J1 が遠くへ霞んで行きました。対戦相手は J2 下位争いのチーム、早めに退散、残念ツアーでした。

今後の予定

9月19日（火） 第2例会 18時半

9月30日～1日（土日）

ユースボランティア・リーダーズフォーラム

10月3日（火） 第1例会 19時

10月17日（火） 第2例会 18時半

10月21日（土） あずさ部 部大会（長野クラブ）

【会計報告】 NEW

2023 年 8 月末現在



項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
8月の合計	38,000	0	0	38,000
8月末迄累計	85,700	0	0	85,700
達成率	34.3%	0%	0%	21.4%

2022-2023 年度 CS/Y サ事業委員会の予定

委員長 荻野清

小澤会長の主題「ALL for ONE」および S/Y サ事業への下記重点目標に沿って、事業推進を図っていきます。

- ①各種継続事業の充実と参加協力者の増加呼びかけ。
 - ②山梨 YMCA との新規又は協働事業の検討と実施。
 - ③他クラブ、他団体との協働事業推進。
- また、本年度から CS/Y サ委員会に実行幹事制を設けており、より実効性の高いイベントが期待されます。

(ベビーカーコンサート：寺田)

(チャリティーラン：佐藤重良)

(山梨YMCAバザー：輿水)

(ブリテン：野々垣和宏)

*本年度から、ブリテン事業が本事業委員会へ組入れとなります。

今後の事業計画は下記のとおりです。

- (10月X日) ベビーカーコンサート
 (10月～11月初旬) 山梨YMCAバザー準備
 (11月3日) 山梨YMCAバザー
 (3月X日) ベビーカーコンサート
 (6月X日) 山梨YMCAチャリティーラン

※何かイベント案がございましたら、いつでもキャビネットへお話しをお願い致します。



2023年7月27日 数年ぶりの山梨YMCA『ふくろうキャンプ』でのカレー作り応援のものです。

IBC/DBC 委員会

委員長 清藤城宏

今から6年前のブリテンに「我がクラブはIBC(国際兄弟クラブ)の面では平均水準に達していない。」と書いた記憶があります。そして2020年11月の30周年記念例会にてオーストラリア、アデレードクラブとオンライン上で念願のIBC関係を締結することが出来ました。この交渉も退会されたHYさんに任せきりで泥縄式?に締結したものでした。残念ながらその後コロナ禍の影響もあり交流が滞っています。

今期先ず、小澤会長からアデレードクラブ宛て…… I would like to take this opportunity to update you on the current situation of our Kofu 21 Ys Club. We sincerely hope to deepen our bond as brother clubs and continue our collaboration for the future. We wish for the continued growth of your esteemed club and the happiness of all your members.

「今回、私共甲府 21 ワイズメンズクラブの近況をお知らせいたします。是非今後の為にも兄弟クラブしてのお付き合いを深めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。貴クラブのますますのご発展と会員皆様のご多幸を祈っております。」とメールを送りました。いまのところ残念ながら返事は有りません。今後例会の様子をHPを通して、またグリーニングカードを通して連絡をとっていききたいと思います。11月の香港で行われます第30回アジア太平洋大会でアデレードの出席者と交流できないか、その可能性も連絡をとってすすめたいと思います。DBC(国内兄弟クラブ)についても焦らず交渉進めたいと思います。

甲府21 CSYサ活動 報告

日時 2023年9月5日 15時から16時
 実施事項 大根の種まき (種まきから・間引き・収穫までの体験学習・収穫したものは山梨YMCAの11月3日のバザーにて販売する)

協働作業

山梨YMCA・キラキラ教室(子供たち11人と先生4名)

甲府21ワイズcs・Yサ活動委員会10人
 沼田夫人の協働作業 計26名

場所 山梨県笛吹市境川藤袋 沼田さん農場

ペンリレー

「ChatGPT」

依田 友紀

ご無沙汰しております。現在、来年の 4 月入学の留学生から日本語学校の志望理由書が届き、チェックしている最中ですが、最近 AI (ChatGPT) を使って書いていることが多いらしく、一見それっぽいで、なかなか見分けがつかずきません。いままで AI (ChatGPT) を使ったことがないので、試しに使ってみようと思います。

(質問) 甲府 21 ワイズメンズクラブでペンリレーを書かなければならないのですが、締切を大きくオーバーしています。遅れてしまった反省とカッコいい文章を 300 文字以内で書いてください。

AI(ChatGPT)



遅れてしまったことを深く反省し、これからはより貢献度を高めることを心に決めました。甲府 21 ワイズメンズクラブの使命に共感し、積極的に参加して、地域社会への

貢献に全力を尽くします。これからは遅れることなく、クラブ仲間と共に素晴らしいプロジェクトを推進し、影響力を拡大させます。

瞬間でこの文章ができました。すごい時代ですね。



2023年9月5日バザー用大根種まき (P3)

◆YMCA便り◆

「夏の足あと」

総主事 中田 純子

夏の終わり、スタッフから夏のプログラム活動終了報告がありました。ほっと一息して館内に響くスタッフの足音。YMCA で夏を過ごしたい子ども達の数は、延べ人数にして約 3,000 人でした。保育園、学童、放課後等デイサービス、野外活動キャンプとそれぞれ違う場所で過ごす子どもたちですが、夏ならではの過ごし方によりそれぞれの豊かな学びとなったことと思います。

特に印象に残ることは、今年もピースプログラムを行いました。甲府 YWCA の主催するイベントに参加させていただき、子どもたちは戦後の在り方、これからの未来への考え方を学びました。決して戦争を起こしてはいけないと「折りづる」の絵本の読み聞かせに目、耳、身体全体を使って向き合っていました。学童のメンバーから学びのお礼に何かしたいと声上がり「折りづるの歌」をプレゼントすることになりました。そこで、リコーダーを演奏する高学年、ギターを弾くユースリーダー、そこに伴奏のピアノが入りバンド結成となり、みんなで歌った歌は心のこもったものでした。YWCAの方からも喜んでいただきました事で、これまで続けてきたことの意味を実感した夏でした。

これまで山梨 YMCA では戦争体験を前理事長から伝えられてきました。毎年、胸を熱くし「戦争は絶対してはいけないんだ」と子どもたちの口が強められた夏を思い出します。

この意思をスタッフ皆で引き継ぎ「平和な世界・仲良しの友達・ひとりひとりが大事な存在」を言葉だけでなく丁寧な態度で表現できるよう努力していきたいと心に強いものが残りました。ここから先に進む足跡に豊かな恵みが与えられますように祈りの時を守りたいと思います。

